

視覚障害者用機器体験モニター会の開催

川崎市には、利用者にとって最適な福祉製品のあり方を示したかわさき基準(KIS)という川崎市が独自に定めた基準があります。この基準は 2008 年度から始まり、昨年度までに 225 製品が認証されています。今年度、視覚支援のための2つの製品がこのかわさき基準(KIS)に申請をいたしました。それに伴いまして、当センターを会場に体験モニター会を開催します。一製品あたり、およそ 10 分程度体験していただき、その後、川崎市の担当者から感想を伺わせていただきます。ご協力をいただけるかたは、当日、当センターまでお越しいただきますようお願いいたします。(予約不要。また、モニター料はありません。)



当日は、DVD 映画体験上映会(上映作品:ラヂオの時間)が午後 1 時 30 分よりございます。映画と併せてお立ち寄りください。

【日 時】 10月26日 (土) 午前10時から午後4時

【場 所】 川崎市視覚障害者情報文化センター (ネットワーク室、閲覧室)

【対象製品】 1:HOYA MW10 HiKARI

2:RETISSA Display

<製品の詳細については、以下を参照願います。>

【製品の詳細】

1:HOYA MW10 HiKARI(HOYA 株式会社): 夜盲症の方向けの暗所視支援眼鏡



世界でも稀な夜盲症と視野狭窄の方を対象とした眼鏡型のウェアラブル機器です。HOYA が独自開発した小型低照度高感度カメラで捉えた像を明るい映像として装用者の左右の目の前に配置された有機 EL ディスプレイに投影します。赤外線カメラと違い、暗所でのわずかな光を増幅させているので、対象物の色彩を自然に再現します。

2:RETISSA ディスプレイ(株式会社 QD レーザ): 見えるを増やす



眼鏡型のフレームに内蔵された超小型プロジェクタから、網膜に直接映像を投影するヘッドマウントディスプレイです。ピントの位置や屈折異常(近視、遠視、乱視、老眼など)に影響を受けにくいのが特長です。片眼の視野中心部に HDMI 接続した機器からデジタル映像を投影できます。

以上